

# ぽれぽれ通信

国民の義務を

果たそう！

11・12月号  
vol.61



## 自民党にいいじめ、 不登校、自殺の 対策チームを結成!

14の部会という機関が設置されている。山本は、そのうちの教育・文化・科学技術・スポーツ分野を担当する文部科学部会の部会長に就任をした。

10月31日に第49回衆議院議員総選挙の投開票が行われ、結果、新たに当選した新人議員、再び国会に戻って来ることが出来た議員、勇退した議員、そして、残念ながら惜敗した議員など自民党の議員の構成が変わったことを受けて党内の人事が、11月に実施された。5期目の当選を

果たした山本にも新たな職責が与えられた。それは、部会長と  
言う役目であった。

世間一般的に、部会長と言う役職は馴染みがないと思われるので、本誌で簡単に説明をした。自民党には、政務調査会の中に中央省庁に対応するために

文部科学部会の役割は、教育・文化・科学技術・スポーツ分野に関わる法案・予算等の審査、文科関連の案件の協議、公約原案の作成などである。部会が審査する対象は、閣法(内閣が提出する法案)、議員立法、予算(概算要求、本予算、補正予算など)、税制改正、提言、決議、重要な閣議決定案件がある。重要なポイントは、これらの対象の内容を全て部会で審査を行い、問題点があれば必要に応じて修正を行う。そして、最終的に部会の了承を得なければ、手続きが一步も前に進まないことにある。

る。部会で了承されれば、党の政策審議会に諮られ、その了承後、党の最高意思決定機関の総務会に諮られ、その了承後は、所属議員の行動を縛る「党議拘束」がかかるため、部会の重要度は極めて高いのである。加えて、部会の運営は、全て部会長に一任されており、与党・自民党での政策決定過程において部会長の権限もまた極めて重要度が高いのである。

## 山本文部科学 部会長始動

山本は、文科部会長に就任して最初の部会の冒頭挨拶の中でいきなり部会長としてのリーダーシップを発揮した。それは、毎年、文科省が全国で悉皆調査※1を実施している「児童生徒の問題行動・不

登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」が、いじめや不登校、そして、自殺の件数を報告し、去年より上がった、下がった、と一喜一憂しているだけでは、意味がないと言い切り、自民党が本腰を入れていじめ、不登校、自殺に対して具体的な対策を打ち出すために党内にプロジェクトチームを立ち上げることを宣言した。

山本文部部会長は、プロジェクトチームの座長などの役員の人事に取り掛かり、年内には設立させ、本格的に議論をスタートさせ、来年の中頃には具体的な対策案を打ち出す方針である。早速、地元紙である神奈川新聞でもその活動が取り上げられていたので、気が付かれた本誌の

読者の方もおられるだろう。

実は、山本が他の部会長に比して、部会長としていきなりアクセル全開で活動できているには理由がある。それは、以前に、国防部長を務めた経験があり、部会長が党内でどのような役割を果たしているか、何が出来るのか、何をやらなければならないかを他の新任の部会長よりも心得ているからだ。国防部長の際には、自衛官の給与の引き上げなど部会長の権限を最大限に活かして実現したこともあった。そのような経験が活かされて文科部会長としても滑り出しは好調のようだ。

## 国民の三大義務は 大人の大切な務め

令和二年度の調査結果による

と、小・中・高校、特別支援学校でのいじめの認知件数は、51万7163件(前年度61万2496件)であり、前年度に比べて9万5333件(15.6%)減少。小・中・高校での暴力行為の発生件数は6万6201件(前年度7万8787件)であり、前年度から1万2586件の減少であった。他方、小・中学校での不登校児童生徒数は19万6127人(前年度18万1272人)であり、前年度から1万4855



▲党文部科学部会にて議論をリードする山本部長

人(8.2%)増加した。加えて、小・中・高校から報告のあった自殺した児童生徒数は415人(前年度317人)で、残念ながら調査開始以降最多となった。いじめや暴力行為が減った要因として文部科学省の見解としては、令和二年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活環境が変化し児童生徒の間の物理的な距離が広がったこと、日常の授業におけるグループ活動や学校行事、部活動など様々な活動が制限され、子供たちが直接対面してやり取りをする機会やきっかけが減少したこと、年度当初に地域一斉休業があり夏季休業の短縮等が行われたものの例年より年間授業日数が少ない学校もあったこと、新

型コロナウイルス感染症拡大の影響による偏見や差別が起きないよう学校において正しい知識や理解を促したことで、これまで以上に児童生徒に目を配り指導・支援したこと等により、いじめや暴力行為の認知・発生件数が減少したと考えられるとしている。

つまり、コロナ禍によって物理的な距離が出来て会う機会も減ったので、いじめや暴力行為が減ったと言っているのに等しく、何かしら文部科学省が対策を立案して取り組んだ結果として減ったわけではない、と自ら認めたのに等しいのである。更に、不登校は増え、自殺は調査開始以降最多とは、あまりにもひどい状況である、と山本も断じざるを得なかった。

そもそも、日本国民には、日本国憲法が定める三大義務がある。「教育の義務（26条2項）」と「勤労の義務（27条1項）」、そして「納税の義務（30条）」の三つである。これらを真面目にしっかりと働き、働いて得た所得に応じてちゃんと納税する、そして、熱心に勉強をする、と理解している読者もいるかもしれないが、実は、最後の勉強に関しては、実は大きな勘違いである。教育の義務とは、熱心に勉強することではなく、大人が子供たちに教育を受けさせる義務を課しているのである。

その観点からすれば、子供たちが学校でいじめにあったり、不登校に陥っていたり、ましてや自ら命を絶っている状況が、大人が教育の義務を果たしているのか、と言

えば、完全にノーである。子供たちが明るく元気に学校に通い勉強に打ち込める環境を作るのが大人の義務なのである。

## 求められる 具体策は？

山本文科部会長は、徹底した党内での議論、関係者や当事者たちなどからのヒアリングを実施し、来年中頃には、具体的なアクションプランを打ち出そうと野心的なタイムスケジュールを掲げている。

実は、既にいじめや不登校、自殺に対する自民党所属議員による勉強会や議員連盟、或いは、超党派でのそれらも存在しており、以前から熱心に議論もなされてきている。加えて、文部科学省もただ単に手をこまねいてきたわけでもあるまい。しかし

ながら、現状、それらの問題が解決の方向に向かっていていると考える状況にないのも確かである。今回、山本文科部会長の肝いりでスタートしたプロジェクトチームが、自民党では、いじめや不登校、自殺に対する本格的な作業チームとして正式には初めてのことである。今後どのような具体的なアクションプランを打ち出すのか、来年中頃までは、という野心的なタイムスケジュールが達成できるのか、それはひとえに山本文科部会長のリーダーシップに掛かっている。本誌では、引き続きこのプロジェクトチームの動向を伝えていきたい。

※1、悉皆調査（しっぴかいちようさ）とは、調査対象の全てに調査を実施すること。全数調査とも言う。



駅で「ぼれぼれ通信」を  
お配りしております  
**駅頭活動報告**

「選挙、頑張ってください」  
「応援してます」  
「自民党、頑張ってください」など  
沢山のエールを頂きました。  
お受け取り頂いた皆様、  
誠に有難うございました！

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の  
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は靴と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



前回の「ぼれぼれ通信」配布数

9月・10月集計分

駅名	9月	枚数	10月	枚数	前月比
逗子駅	—	—	12日(火)	288	—
新逗子駅	—	—	11日(月)	206	—
鎌倉駅(東口)	—	—	※	—	—
鎌倉駅(西口)	—	—	18日(月)	318	—
大船駅(西口)	—	—	※	—	—
大船駅(モノレール口)	—	—	6日(水)	288	—
大船駅(東口)	—	—	5日(火)	336	—
大船駅(笠間口)	—	—	8日(金)	281	—
本郷台駅	—	—	※	—	—
港南台駅	—	—	※	—	—
	9月配布合計	—	10月配布合計	1,717	—

緊急事態宣言により  
駅頭活動を自粛

※鎌倉市長選挙、衆議院議員選挙により、通常の駅頭活動が実施できませんでした。

簡単にアクセス  
できます！

Twitter facebookは本人がやっています

専用のアプリをダウンロードして右のQR  
コードを読み取りください。(iPhone除く)



Twitter



Facebook



HP

# 第49回 衆議院選挙結果報告

第49回衆議院議員総選挙 結果報告

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)

	候補者名	党名	得票数
<b>比当</b>	<b>山本ともひろ</b>	<b>自民</b>	<b>47,511</b>
<b>小当</b>	早稲田ゆき	立民	66,841
	浅尾慶一郎	無	63,687
	高谷あきひと	維新	16,559
	大西つねき	無	7,790

有権者数 332,708人 確定投票率 61.70%

10月19日公示、31日投開票で実施された第49回衆議院議員総選挙、神奈川4区では、上記表の結果となった。5期目の挑戦に自民党公認・公明党推薦で立候補した山本ともひろは、小選挙区での当選には至らず、比例区での当選となった。

5期目の当選を果たした山本ともひろ(46歳)。これからも益々、地元のため神奈川のため。そして日本のために十分働き、その職責を果たしてくれると大いに期待ができる。



# 山本ともひろプロフィール

## 経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成30年 自民党 国防部会長 就任
- 令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 令和3年 自民党 文部科学部会長 就任

## 自由民主党 衆議院議員 (5期 13年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)  
昭和50年(1975年)生まれ  
46歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

## 国会見学案内実施中!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。



## ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



## 山本ともひろ事務所リスト

- 本部事務所** 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F  
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943
- 国会事務所** 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室  
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和3年(2021年)11月30日発行 第61号

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。